

シリーズ「戦後 75 年 ～語り継ぐ記憶～」

「ニュース 545」で 8 月 12 日（水）から 3 日間にわたり放送

今月 15 日で戦後 75 年を迎えます。戦争の記憶が風化しつつある中、テレ玉（地デジ 3ch）は 8 月 12 日（水）、13 日（木）、14 日（金）の 3 日間「ニュース 545」でシリーズ「戦後 75 年 ～語り継ぐ記憶～」を放送。体験者の話などから戦争について考えます。



【放送内容】

8 月 12 日（水）

亡き母に代わり原爆を伝える

2 歳の時に広島で被爆した所沢市在住の坂下紀子さん。当時の記憶はほとんどありませんが、母親から聞いた 8 月 6 日の広島の惨状を自身の記憶として受け継いできました。若い世代に戦争の悲劇や原爆の恐ろしさを伝えます。

8 月 13 日（木）

桶川飛行学校「平和祈念館」に

今月開館した桶川市の桶川飛行学校平和記念館は太平洋戦争末期には特攻隊の訓練場となり、隊員を送り出しました。館内には特攻隊員が家族に宛てた遺書などが公開されています。飛行学校の教官として教鞭を執り、特攻隊員として戦死した男性の次女・臼田智子さんが、亡き父との思い出や戦争と平和を語ります。

8 月 14 日（金）

戦争の「語り部」平和への思い

11 歳の時に広島で被爆し、多くの親族を亡くした中島さんは、悲惨な戦争の記憶が風化しないよう県内の小中学校などで「語り部」として活動を続けています。原爆投下から 75 年の節目を迎える今年、中島さんが語り継ぐ被爆体験と平和への思いを伝えます。



月曜～金曜 夕方 5 時 45 分～6 時 15 分

“あなたにカンケイあるニュース” 事件・事故からまちの話題まで、きめ細やかにフォロー。中継や記者解説を交えて「埼玉のいま」をお届けします。